

BEA 社が WebLogic Event Server に SL 社の Enterprise RTView を組み込み提供

2007 年 7 月 17 日付け 米コルテ・マデラ市発 プレス・リリースより (抜粋) :

リアルタイムな監視、解析、可視化ソフトウェアの提供でリードする SL 社は、BEA Systems, Inc. (以下、BEA 社) が発表した BEA WebLogic® Event Server 新製品で、SL 社の Enterprise RTView プラットフォームがリアルタイムな監視と可視化ソリューションとして選択されて組み込まれたことを、発表しました。

Enterprise RTView プラットフォームは、BEA 社のリアルタイムな複合イベント処理 (CEP: Complex Event Processing) ソリューションの高性能な監視機能を拡張するもので、BEA 社はイベント処理ネットワークへのより有意義な可視性を顧客に提供でき、顧客企業は十分な情報に基づく迅速な意思決定によって、その事業推進を加速できます。Enterprise RTView によって、BEA 社ではこの監視と可視化ソリューションを WebLogic Event Server 新製品の一部として組み込み、最短のスケジュールで迅速にリリースすることができました。

SL 社が選択されたのは、BEA 社の「組み込み可能でカスタマイズできるリアルタイムな性能を持った技術」という要求条件を満たし、かつ SL 社がすでに CEP 市場における主要プレイヤーすべてと協調していたからです。加えて、SL 社の JMX と MBeans の専門知識と経験、そして SL 社チーム全体における対応の早さが、BEA 社の迅速なソリューション提供の実現で貢献しました。同時に発表された Enterprise RTView の最新バージョンでは、大量の MBeans がアクセスされるような大規模の JMX 実装における高速で高度な集約機能とリアルタイムな JMX 通知機能を提供しています。

“

「Enterprise RTView プラットフォームを使用することによって、イベント処理環境へのより強力な可視化機能を顧客に提供できたり、我々が取ったアプローチの価値を迅速に示すことができた」

”

Guy Churchward
WebLogic 製品担当副社長
BEA Systems

SL 社、SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET の最新版をリリース リアルタイムな Windows ベースの監視制御システムへのサポート強化

2007 年 9 月 6 日付け 米コルテ・マデラ市発 プレス・リリースより (抜粋) :

SL 社は、SL-GMS Developer for .NET ならびに SL-GMS Custom Editor for .NET の最新バージョン 3.1a をリリースしたことを発表しました。今年の 1 月に Windows Vista にいち早く対応したバージョンのリリースに続き、SL 社では、リアルタイムなプロセスのダイナミック・グラフィック・コンテンツによる表現が必要とされる製造業ならびにその他の監視制御分野において高まっている、Microsoft .NET ニーズへの対応強化に力を入れています。今回の新バージョン 3.1a では、拡張されたグラデーション付き塗りつぶしダイアログ、予め定義されたグラデーション付き塗りつぶしパターン、ドッキングでフロータブルなツールバーなどが新たに追加された他、SL 社の顧客からのフィードバックに基づくその他の改善と修正が施されています。

SL 社、証券業金融市場協会 SIFMA に出展

SL 本社は、去る 6 月 19 日から 21 日にヒルトン・ニューヨーク・ホテルで開催された、証券業金融市場協会 SIFMA (Securities Industry and Financial Markets Association) が開催した 2007 Technology Management Conference & Exhibit に出展しました。

今年で 27 回目の開催となるこの会は、300 社以上が出展し、7,000 名以上が参加する、業界をリードするイベントです。コンファレンスでは、グローバルな金融機関が、変化していく技術をいかに駆使して生産性向上を図り、規制コンプライアンス、市場融合に対応しているかについて、議論されました。



SL 社では、すでに数々の金融・証券分野で活用されている Enterprise RTView を出展し、インフラ監視やリアルタイムなオペレーション・ダッシュボード・ソリューションをプログラミングすることなく構築し、いかに開発費用とリスクを削減できるかをご提案しました。また、同展示会では、TIBCO Software 社、Progress Software 社、Aleri 社、Skyler Technology 社などのユーザ各社が、SL 社の Enterprise RTView 製品を使ったソリューションを実演されました。

アイテック阪神が Web ベースのビル設備管理システム「OCTBAS-i」に、SL 社のリアルタイム Java GUI を採用

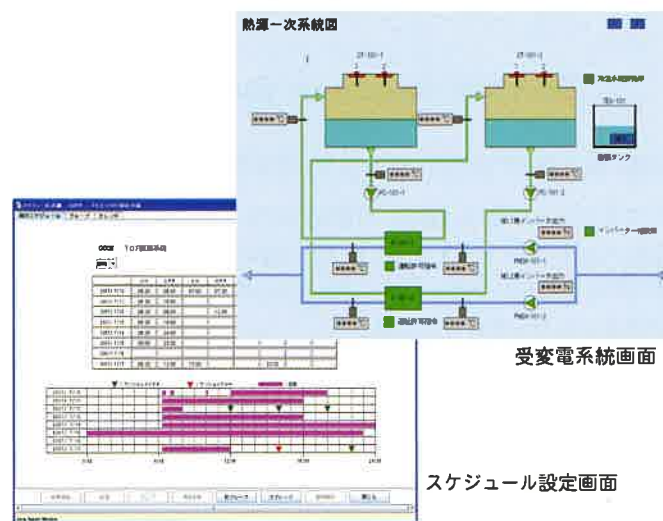
SL 社のカスタム・エディタ技術を駆使し、システム専用のビルダーも提供

2007 年 8 月 28 日 プレス・リリースより (抜粋) :

SL ジャパンは、システム・インテグレーションで業界をリードするアイテック阪神株式会社が、その新しい Web ベースのビル設備管理システムに、SL-GMS J/Developer ならびに SL-GMS Custom Editor 製品を組み込み採用したことを、発表しました。

これまで、アイテック阪神ではオープン系の最新技術を取り込み、エレベータ、エスカレータや防犯設備などのさまざまなビルや駅設備の監視制御を行なうビル管理システムの設計開発の数々を手掛けて来ました。そのノウハウとテクノロジーを結集した、同社の総合ビル管理システム「OCTBAS-i (Open Control Technology / Building Automation System)」は、電力・空調などの設備を Web 画面を利用して監視制御したり、遠隔からのリモート監視や、機器異常発生時にメール送信により外部へ連絡するなど、従来の管理者のみのビル管理システムから、オープンな設備機器監視システムへと変革しています。

この OCTBAS-i の中枢となる「BA (Building Automation) システム」は、米ビル・システム業界の標準技術となった LonWorks (米エシェロン社開発) 知的分散制御ネットワーク技術やアイテック阪神社製の自立分散型コントローラによる中央監視システムをコアに、設備の運転・故障・警報監視や運転制御、実績データの収集を行ない、エネルギー管理や LCD 照明・空調の制御、課金管理など他の OCTBAS-i 構成システムと連携します。そして、今回一新されたその Web ベースのグラフィック監視画面に、SL 社の比類なくコンパクトで高速な SL-GMS J/Developer が採用されています。SL-GMS J/Developer は、コンテンツリッチでシンクライアントな Java のリアルタイム・ダイナミック GUI を容易に構築するための開発ツールで、世界の監視制御システムの数々で使用されています。



設備管理システムの Web 監視画面は、スケジュール設定、トレンド測定履歴、受変電系統制御、警報監視、遠隔操作など、多数画面で構成されており、中央監視システムで収集されたデータ駆動で、SL-GMS J/Developer によって高速に表示されます。SL-GMS J/Developer では、さまざまな動的属性を持ったグラフィック・オブジェクトを SL-GMSDraw エディタで対話的に作成し、その動的振る舞いをすぐにプレビューして確認できるため、多種多様の監視制御画面を迅速に開発することができます。さらに、現場でプログラミングすることなく、これらの監視画面を容易に変更し、保守費用を最小限にできる、システム専用のオーサリング環境が、SL-GMS Custom Editor で構築されています。SL-GMS Custom Editor は、オブジェクト・パレットやデータとの接続など、アプリケーション固有のビルダーとして作り込むことが可能で、その開発工数を、数人年から数人月に削減します。

イベント・セミナーのご案内

11 月 7 日 (水) ~ 9 日 (金) 日本 OPC 協議会ブースにて共同出展 @ 計測展 2007 TOKYO

会場 東京ビッグサイト 西 1・2 ホール

SL-GMS Developer & Custom Editor for .NET を出展いたします。SL-GMS を使ったソリューションやシステムでは OPC (*) サーバに接続し、そのデータ駆動によって、SL-GMS クライアントでリアルタイムに可視化して表示しています。(*)OLE for Process Control の略で、Windows 環境における標準仕様

12 月 14 日 (金) 「現場フロアからの監視データを .NET で企業内展開」セミナー

会場 エイベックス ビル (東京・南青山、SL ジャパン所在ビル)

現場フロアからのリアルタイムな監視データを Web ブラウザや Microsoft SharePoint ポータルで展開。 .NET に移行する監視制御システムのリアルタイム・ダイナミック GUI とエンドユーザ向けの専用ビルダーに、SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET を、先行ユーザ事例や実演を交えてご提案してまいります。

お申し込みは、Newsletter 返信用ファックスまたは seminar@sl-j.co.jp で承ります。



Microsoft SharePoint の Web パーツ化された SL-GMS Developer for .NET カスタム・エディタ例



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-30 エイベックス ビル 3階
Tel. 03-3423-6051 Fax. 03-3423-6070 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

発行日：2007 年 9 月 26 日

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。